



# 明るい漁村



漁業協同組合 JFしまね 第5回通常総代会



## CONTENTS

漁業協同組合JFしまね第5回通常総代会開催	2	小型底曳船協議会通常総会開催	8
JFしまね会長あいさつ	3	事業部だより	9
平成21年度決算状況	4	浜の声～石倉要一さん(JFしまね美保関支所所属)	10～11
平成22年度事業計画	5～6	浜の出来事	11
恵曇冷凍冷蔵庫竣工式	7	インフォメーション	12
島根県知事へ要望	8		

第5回

漁業協同組合  
JFしまね

# 通常総代会



細田重雄 島根県議会議員



溝口善兵衛 島根県知事



西郷地区・浜田利長 議長

去る6月19日(土)午前10時よりホテル一畑(松江市千鳥町)で出席総代145名(内本人出席112名、書面によるもの31名)により第5回通常総代会が開催された。

総会では冒頭に岸 宏JFしまね会長が挨拶し、引き続き来賓の溝口善兵衛島根県知事、細田重雄島根県議会議員から祝辞を戴いた。  
続いて議事に移り、議長に西郷地区・浜田利長総代が選任され、以下

- 第1号議案 平成21年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書並びに剰余金処分案に関する件
  - 第2号議案 平成22年度事業計画に関する件
  - 第3号議案 平成22年度における借入金の最高限度額に関する件
  - 第4号議案 平成22年度内における理事及び監事の報酬に関する件
  - 第5号議案 余剰金運用規程の一部改正に関する件
  - 第6号議案 平成22年度賦課金の徴収に関する件
  - 第7号議案 出資配当金を増資に充当する件
- 全7議案とも原案通り承認され、特別決議として、「竹島領土権確立に関する件」が提案され、原案どおり承認された。  
引き続き岸会長より、今年夏の参議院島根選挙区の選挙において、青木一彦氏を推薦したい旨提案があり、満場一致で推薦決議を行い総代会は終了した。

# いしづか

代表理事会長 岸 宏



本日、漁業協同組合JFしまね第5回通常総代会を開催致しましたところ、各地区から総代の皆様のご出席を戴くと共に公務ご多弊の央、溝口島根県知事様、島根県議会議長様をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜り盛大に開会できますことを先ずもって厚くお礼申し上げます。

さて、平成21年度の漁業をとりまく環境は、経済不況のもと、消費者の低価格志向とデフレ圧力が世界的に続く中で、魚価の慢性的な低迷・クラゲの発生・年度後半

の長期に亘る時化と極めて厳しいものがありました。

このような中で、本県漁業生産高は11万8千トン、182億円と量的には微増するも額的には魚価安を反映し、対前年87%と大幅に下回る結果となりました。

私共JFしまねも早いもので合併以来4ヶ年が経過しました。これまで「組合員所得の増大」を目標に、組合員・役職員の理念の共有化、組合員間の権利・義務の平等化、組合経営基盤の確立を三つの柱に鋭意事業を推進して参りました。

その成果として、組合員・職員間の共有意義の芽生え、懸案であった燃油価格統一と魚箱仕入一元化による大幅コストダウン、合併効果としての出雲・隠岐地区二重手数料解消による組合員負担軽減、イオン直接取引事業導

入による漁業者手取の増大等いささかなりとも組合員の負託に応えることができたかと、考えるところであります。

平成21年度決算は後程詳細ご報告申し上げますが、所定の諸引当金計上後当期剰余金が2億1千6百万円余りとなり、法定積立金・特別積立金に充当後、剰余金について本組合設立後初めて出資配当金・事業分量配当金をもって組合員に還元することにした次第であります。

これ偏に組合員各位のご協力・ご理解の賜であり心から感謝申し上げますと共に、県ご当局をはじめ関係各位のご支援に改めて深く謝意を表すところであります。

しかし乍ら一面、解決すべき課題も数多く浮かび上がったことも事実であり、今後はこれ迄の成果と反省を真摯に踏まえ、「ゆるぎない信念とたゆまざる努力」をもって一つ一つ着実に課題を解決し乍ら、JFしまねの将来展望を確かなものにするのが肝要と考えます。

このような認識のもと今年度は、昨年度から3カ年で推進中

の、「組織の融合一体化」、「魚食普及・魚価向上と流通費縮減」、「経営財務基盤の確立強化」を基本に、海においては

資源管理と漁業生産構造見直し浜においては

市場統合と自己買参権活用による販売力強化

街においては

魚食文化普及と消費拡大PRの事業を積極的に推進して参りました。今後とも組合員各位の一層のご協力をお願いする次第であります。

次に、私共懸案の竹島領土権確立運動につきましては、未だ何ら進展もないばかりか、暫定水域があるために影響を受ける漁業者への救済対策も事業見直しによって縮小されており、竹島問題が風化しつつあるやの懸念すら抱く現状であり、私共は改めて竹島問題を漁民運動として強力に展開していく所存であります。

本日の総代会には平成21年度決算、平成22年度事業計画等諸案件を上程しておりますので充分にご審議のうえご承認頂きますようお願いし開会のご挨拶と致します。

## 貸借対照表

平成 22 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

資 産		負債及び純資産	
科 目	金 額	科 目	金 額
( 資産の部 )		( 負債の部 )	
1 信用事業資産	41,281,294,571	1 信用事業負債	43,619,010,074
2 共済事業資産	3,959,934	2 共済事業負債	71,640,676
3 流動資産	2,706,887,960	3 流動負債	2,618,586,138
( 1 ) 受入手形	4,734,900	( 1 ) 経済事業未払金	1,384,587,131
( 2 ) 経済事業未収金	2,014,312,452	( 2 ) 経済事業雑負債	14,532,977
( 3 ) 経済事業雑資産	112,478,794	( 3 ) 賦課金仮受金	421,593
( 4 ) 棚卸資産	744,778,394	( 4 ) 未払法人税等	10,248,300
( 5 ) その他の流動資産	303,365,316	( 5 ) その他の流動負債	1,208,796,137
( 6 ) 貸倒引当金	472,781,896	4 固定負債	1,086,654,540
4 固定資産	9,497,019,536	( 1 ) 長期借入金	318,296,176
( 1 ) 有形固定資産	5,546,910,637	( 2 ) 受入保証金	734,147,448
減価償却資産	13,168,476,124	( 3 ) 出資預り金	34,210,916
減価償却累計額	10,001,945,810	5 諸引当金	2,383,402,982
土地	2,182,515,023	( 1 ) 賞与引当金	84,671,552
建設仮勘定	197,865,300	( 2 ) 退職給付引当金	2,275,184,770
( 2 ) 無形固定資産	11,486,815	( 3 ) 役員退任慰労引当金	18,546,660
( 3 ) 外部出資	3,270,136,824	( 4 ) 遭難救助引当金	5,000,000
系統出資	2,732,192,477	6 再評価に係る繰延税金負債	21,257,712
系統外出資	511,211,343	負債の部合計	49,800,552,122
子会社等出資	26,733,004		
( 4 ) 長期特定資産	6,235,240	( 純資産の部 )	
( 5 ) その他の固定資産	1,295,035,773	1 出資金	3,339,840,000
( 6 ) 貸倒引当金	632,785,753	2 資本準備金	13,536,562
		3 利益剰余金	334,502,578
5 繰延資産	2,848,234	( 1 ) 利益準備金	86,943,449
		( 2 ) その他利益剰余金	247,559,129
		特別積立金	29,818,689
		当期末処分剰余金	217,740,440
		( うち当期剰余金 )	( 216,402,323 )
		4 処分未済持分	45,090,000
		組合員資本合計	3,642,789,140
		1 土地再評価差額金	48,668,973
		評価・換算差額等合計	48,668,973
		純資産の部合計	3,691,458,113
資産の部合計	53,492,010,235	負債及び純資産の部合計	53,492,010,235

平成 21 年度 決算状況  
 平成 21 年度決算の概況は次のとおりです。  
 本組合事業にご協力賜りました組合員各位、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成21年度

決算状況

## 損益計算書

平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで (単位：円)

科 目	金 額
1 事業総利益	2,507,226,875
信用事業総利益	386,711,049
共済事業総利益	82,683,094
購買事業総利益	667,869,504
販売事業総利益	1,227,173,488
製氷冷凍事業総利益	55,781,527
加工事業総利益	7,495,686
利用事業総利益	18,710,217
漁業自営事業総利益	7,568,109
漁場利用事業総利益	296,715
指導事業収支差額	68,073,704
無線事業収支差額	0
2 事業管理費	2,532,270,841
( 1 ) 人件費	1,747,539,183
( 2 ) 旅費交通費	28,150,424
( 3 ) 業務費	88,932,387
( 4 ) 諸税負担金	76,546,674
( 5 ) 施設費	341,348,000
( 6 ) 減価償却費	215,192,279
( 7 ) 雑費	34,561,894
事業利益	25,043,966
3 事業外収益	350,777,797
4 事業外費用	122,195,450
経常利益	203,538,381
5 特別利益	61,646,701
6 特別損失	39,758,759
税引前当期利益	225,426,323
法人税・住民税及び事業税	9,024,000
当期剰余金	216,402,323
前期繰越剰余金	1,338,117
当期末処分剰余金	217,740,440

## 事業計画

平成22年度の組合運営及びこれからの3カ年は、これまでの3年間の成果と反省を真摯にふまえ、JFしまねの将来展望を確かなものにするため昨年度から3カ年計画で推進中の「組織の融合一体化」「魚食普及・魚価向上と流通経費縮減」「経営財務基盤の確立強化」を3本柱として、目標である「組合員所得の向上」の実現のため組合員・役員一丸となって取り組むものとする。

## 重点推進事項

## 1. 販売事業

JF市場への組合員全出荷体制の確立に努める。

販売事業統括部を核とする各支所販売部門間の連携を強化していく。

組合員への市況等の情報周知と出荷指導に努める。

魚食普及・魚価向上・流通経費

縮減対策へ積極的に取り組む。

## 2. 購買事業

漁業経営セーフティネット構築事業の積極活用を図る。

石油購買事業における物流確保と安定供給に努める。

魚函安定供給体制の確立を図る。

在庫管理の徹底と取扱品目の見直し。

## 3. 信用事業

貯蓄推進委員会等との連携による貯金量430億円の達成を目標とする。

信用事業リスク体制整備と自己資本比率の向上を図る。

漁業信用保証業務との連携により、漁業経営改善のための必要な支援を行う。

## 4. 共済事業

JF共済の「チョコー」は、万の場合などを保障しながら貯蓄機能もあるJF共済を代表する生命共済で、入院や手術、通院などお客様のニーズにあった保障が選択できる共済であり、

万一の場合を一生涯にわたり保障する終身共済を主体に加入者を増大し、「チョコー」の保有残高の拡大をめざす。

JF共済の「くらし」は、貯蓄をしながら建物や収容されている家財などを火災や自然災害から守る総合的な補償で、満期時の満期共済金により増改築時にも役立つ共済であり、万一の自然災害の損害に対しても安心してきる補償提供を目的に、加入者の増大をめざす。

## 5. その他の事業

冷凍冷蔵事業については、販売部門との連携を強化し、魚価の安定と向上に積極的に取り組むとともに、恵曇冷凍冷蔵庫の（6月稼働）の経営基盤確立と稼働率の向上を図りコスト削減に努める。

製氷事業については、境港製氷工場の稼働率の向上に努めるとともに、境港・浜田製氷工場を核とする氷供給体制を構築する。

既存の加工施設の再点検・リニューアルにより新規活用を図

るとともに、不採算事業の整理と新規事業の開拓に取り組む。

「JFしまね漁業無線局」を有効に活用し、組合員への気象情報及び海上防炎情報、漁海況速報の提供による海難事故の未然防止と操業効率の向上に努める。

指導事業については、200海里水域対策として、日韓協定・暫定水域民間協議対策、EEZにおける韓国漁船対策、竹島領土権確立と安全操業対策など、漁業振興対策として、担い手・後継者育成対策、繁殖保護・漁場管理・資源管理型漁業の推進・営漁指導・生産、販売流通対策等を行うこととする。



総代会で承認された指導賦課金の徴収につきましては、次のとおりです。

① 賦課金の金額

正組合員 年間3、000円  
准組合員 年間2、000円

② 徴収期間及び徴収方法

平成22年8月31日までに本組合口座に口座振替又は振り込み等によって納入する。

JFしまね漁業無線局賦課金徴収については、次のとおりです。

① 賦課金の金額

区分	年額
漁業種別別賦課額	
沖合底曳網(25m以上175m以下)	216,000円
沖合底曳網(175m以下)	108,000円
旋網(100t以上1隻あたり)	100,000円
旋網(100t未満1隻あたり)	搭載する無線機種別賦課金額とする。
無線機種別別賦課額	
27メガ DSB 1W	16,800円
27メガ SSB 25W	30,000円
40メガ DSB 5W	30,000円
40メガ DSB 5V(准加入)	36,000円

無線機併設船については、高額な方の賦課額とする。

② 徴収時期及び徴収方法

平成22年8月31日までに口座振替を原則に納入する。

平成22年度主要事業取扱計画

平成22年4月1日から平成23年3月31日 (単位:千円)

部門	金額	備考	
購買事業	石油類	5,219,876	
	資材類	1,224,667	
	合計	6,444,543	
販売事業	受託販売取扱高	23,010,238	
	買取販売	3,703,441	
	合計	26,713,679	
冷凍冷蔵事業	冷凍品販売高	1,544,682	
	保管料	202,182	
	合計	1,746,864	
製氷事業	水供給高	696,257	
加工事業	加工品販売高	161,710	
	受入加工料	2,140	
	合計	163,850	
利用事業	受入利用料	240,448	
漁業自営事業	販売高	171,140	
経済事業総取扱高		36,176,781	
信用事業	貯金	42,998,000	
	預け金	25,860,000	
	貸出金	10,105,000	
	有価証券	3,574,000	
共済事業	普通厚生共済(チョコー)	46,500,000	
	長期共済保有高	生活総合共済(くらし)	14,400,000
		合計	60,900,000
	共水連元受契約に係るもの	ねんきん	52,800
短期共済保有高	乗組員厚生共済(ナリコー)	11,900,000	
	火災共済(カサイ)	23,900,000	
	合計	35,800,000	

平成22年度収支計画

平成22年4月1日から平成23年3月31日 (単位:千円)

科目	金額
1. 事業総利益	2,673,772
〔信用事業総利益〕	363,001
〔共済事業総利益〕	79,686
〔購買事業総利益〕	605,417
〔販売事業総利益〕	1,173,077
〔買取販売事業総利益〕	126,680
〔冷凍冷蔵事業総利益〕	49,559
〔製氷事業総利益〕	168,778
〔加工事業総利益〕	18,513
〔利用事業総利益〕	17,114
〔その他事業総利益〕	1,631
〔無線事業総利益〕	-3,204
〔指導事業総利益〕	73,520
事業収益計	15,846,166
事業直接費計	13,172,394
2. 事業管理費	2,580,651
(1) 人件費	1,795,191
(2) 旅費交通費	29,756
(3) 業務費	87,413
(4) 租税公課	49,616
(5) 負担金	20,293
(6) 施設費	328,484
(7) 減価償却費	245,175
(8) 雑費	24,723
事業利益	93,121
3. 事業外収益	200,360
4. 事業外費用	20,970
経常利益	272,511
5. 特別利益	325
6. 特別損失	11,150
税引前当期剰余金	261,686
法人税・住民税	9,024
当期剰余金	252,662



# 恵曇冷凍冷蔵庫竣工式



去る6月18日(金)午前11時より、松江市鹿島町恵曇において本組合「恵曇冷凍冷蔵庫」竣工披露式が執り行われた。

現有の冷凍冷蔵庫は、建設稼働以来37年以上が経過し、冷凍能力の低下に伴う保管物の劣化や施設の老朽化による労働環境の悪化等その稼働は限界に達していた。このような中、松江市の冷凍冷蔵保管施設整備事業・国の強い水産業づくり交付金事業等を導入し、恵曇漁港における新たな水産物流通拠点を2カ年かけて整備。今般、竣工の運びとなった。

竣工式では、JFしまね岸会長の挨拶に続き、本冷凍冷蔵庫の建設にあたりご尽力戴いた協同組合建築技術センター並びに(株)鴻池組、日本コンテック株式会社に感謝状が贈呈され、(株)鴻池組山陰支店井戸内支店長より謝辞があった。

引続き来賓の松江市松浦市長、島根県農林水産部石垣部長、松江市議会三島議長より祝辞を頂戴し、最後に松江市産業経済部海部長の発声による乾杯で竣工式は終了した。

竣工式終了後には、新たに荷捌施設に設置された鮮魚自動選別機(セレクター)の「お披露目」が行われ、まき網船で水揚げされた大小さまざまな鮮魚が見事に選別されていく様子を出席者らは興味深く見入った。

今後は特に、隠岐まき網船団を誘致することで浜値の向上と鮮魚・加工原魚の確保に加え、鮮魚保管施設の活用等魚価向上を図り、地元はもとより島根半島東部及び隠岐地域の漁業者の負託に込めていくこととする。

新施設の概要は次のとおり。

## 冷凍冷蔵庫保管施設

敷地面積	3364.96㎡
構造規模	鉄骨造平屋建
延面積	1712.34㎡
建築面積	1712.34㎡
設備内容	

- F級冷蔵庫(1,000ト)
- F級冷蔵庫(500ト)
- 凍結設備(20ト)
- 凍結設備(10ト)
- 鮮魚室(庫内温度0℃)



F級冷蔵庫 (1,000ト)



魚体選別機



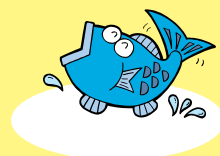
冷凍庫 (20ト・10ト)



F級冷蔵庫 (500ト)



脱パン機



# 島根県知事へ要望

## 大田水産物市場統合・道路整備



去る6月9日(水)、JFしまね岸会長をはじめ関係者は、溝口島根県知事、松尾島根県副知事、田原島根県議会議長に対し、大田市管内4箇所の市場を、和江水産卸売市場へ統合することを報告した上で、荷捌所の新設整備や進入道路の整備などの支援について要望書を提出した。

JFしまね岸会長は溝口知事に対し、「燃油高騰や魚価の低迷など、依然として漁業を取り巻く環境が厳しい中で、経営の合理化を図ることを目的とした市場統合への検討を進めてきた結果、和江へ統合することを

決定した。施設整備とあわせ、周辺の道路整備についても支援をお願いしたい。」と要望。これに対し溝口島根県知事は、「県議会とも協議をしながら、よく検討していきたい。」と回答した。

JFしまねではこれまで、大田の主要漁業である小型底曳き網漁業の再編計画の一環で進めてきた市場統合の協議の中で、港の広さや岸壁付近の水深などの港湾機能や取扱高などから、大田市内4箇所の主要市場を和江(大田市静間町)へ統合することで合意。平成24年までに施設整備をすることとしている。



# 島根県小型機船漁業協議会

## 第21回通常総会開催

去る6月12日(土)、大田商工会議所(大田市)において、島根県小型底曳船協議会第21回通常総会が開催された。

吉田敬治会長の開会挨拶に引き続き、河原県水産課長、藤山県議会議員、和田県議会議員、竹腰大田市長、JFしまね岸会長からの来賓挨拶を頂き議事に入った。

議長に、大田支所所属/博丸の月森久樹氏が選任され、各議案について審議をされた結果、全議案とも原案通り承認され、役員改選にて承認



された新役員による互選の結果、会長に昭吉丸(大田) / 吉田敬治氏が再任し、副会長三名にも玉千代丸(仁摩) / 山根稔氏、昭洋丸(久手) / 中島洋一氏、明神丸(惠曇) / 小川満治氏がそれぞれ再任した。

引き続き事務局、及び県水産技術センター、浜田水産事務所より協議報告事項の説明がなされ総会は終了した。

会長	吉田敬治	昭吉丸(和江)
副会長	山根 稔	玉千代丸(仁摩)
理事	中島幸一	昭洋丸(鳥井)
	小川満治	明神丸(惠曇)
	坂根康平	幸栄丸(久手)
	月森隆広	大洋丸(和江)
	中島幸夫	正運丸(和江)
	辻 豊孝	良運丸(五十猛)
	松村孝秋	琴代丸(仁摩)
	森山洋一	灘富丸(久手)
	峠 勝憲	漁神丸(仁摩)
	田中 登	大久丸(久手)
	中島典生	幸神丸(和江)
	千賀貴志	みつわ丸(大社)
監事	水川俊明	神光丸(和江)
	水上克之	三和丸(仁摩)
	堀 康雄	新漁丸(鳥井)



JFしまね信用部からのお知らせ

金利上乘せキャンペーン定期貯金

# 『JFしまね5・GO定期』のご案内

JFマリンバンクしまねでは、平成22年7月5日から平成23年4月28日までの間、日頃のご愛顧に感謝いたしまして、金利上乘せキャンペーン『JFしまね5・GO定期』を取り扱っております。他金融機関にてお預けされて満期を迎える貯金をお持ちの方、安全で利回りの良い商品をご検討の方、また、退職を迎えられ退職金を受け取られるサラリーマンの方など、この特別な機会には是非ご利用ください。  
詳しくは、JFしまね信用窓口までお尋ねください。  
心よりお待ちしております。

**JFしまね 5・GO定期**

取組期間  
平成22年7月5日(月)から  
平成23年4月28日(金)まで

預けて安心、選んでお得!!  
JFしまねの金利上乘せ  
キャンペーンをご利用ください。

**店頭金利 + 最大年0.55%**  
※上記上乘せ金利は、期間満期日まで適用となります。

対象者 個人の方  
対象貯金 スーパー定期  
スーパー定期300  
大口定期  
お預け期間 3年  
ご契約金額 新規ご契約100万円以上

## 【商品内容】

- ご利用いただける方 個人の方
- お預かり金額 新規ご契約100万円以上
- お預かり期間 3年
- お預かり金利

特別金利として、お預かり貯金別にお預り時の店頭金利に上乘せ金利を設定いたします。

- スーパー定期（300万円未満）…………… 店頭金利 + 年0.25%
- スーパー定期300（300万円～1千万円未満）… 店頭金利 + 年0.30%
- 大口定期（1千万円以上）…………… 店頭金利 + 年0.35%

また、「JFしまね5・GO定期」のお申込と併せて年金受給口座をJFしまねで指定または予約、もしくは変更いただきますと、お預り貯金別の上乗せ金利をさらにお得な金利へ変更して、お預り時の店頭金利に上乘せ金利を設定いたします。

- ◎スーパー定期（300万円未満）…………… 店頭金利 + 年0.45%
- ◎スーパー定期300（300万円～1千万円未満）… 店頭金利 + 年0.50%
- ◎大口定期（1千万円以上）…………… 店頭金利 + 年0.55%

# 漁の声

## 第7回

いしくら 石倉 要一さん 77歳 JFしまね美保関支所所属

島根半島の東側に位置し、町中央部を北山山系が東西に縦断し細長い地形となっており美保関半島。北部日本海側は、リアス式海岸となっており天然の良港が続き、特に一本釣、採介藻、定置網など沿岸漁業が盛んな町。今回は美保関町諸食（もろくい）で、漁師一筋60年のベテラン漁師、石倉さんに「浜の声」を聞いた。

気付いたら親父と船に乗っていた。

今年で78歳になるといふ石倉さんは、漁師歴60年になるベテラン漁師。祖父や父親は漁師であったが、戦時中であつた当時、父親は3度の出兵を繰り返したという。

昭和20年、父親が最後の出兵から地元諸食（もろくい）に戻り、漁師を再開し始めた頃、「気が付けば自分も一緒に船に乗っていた」といふ石倉さん。「別に親父に誘われたわけでもないけど、他にすることなかったけんね。」と当時を振り返る。

親父を師匠として始まった「親子船」の主な漁業は延縄漁。この時期は、活イカ（テナシ）を餌にして、大ダイヤヒラマサを釣っていたという。時には、隠岐の島の畑が見えるほど沖まで縄をはえたはえたこともあったとか。「あの頃は魚もよけおつたけんねえ・・・。親父と一緒に漁師をやつていて一番儲かつたこ

ろかな。」とその頃の操業を懐かしんだ。

漁師の嫁は大変だけど、覚悟はしていたよ・・・。

石倉さんが25歳の時、奥さんの力メ子さんと結婚。「漁師の家に嫁いだからには、覚悟はしちよつたけどね。」という力メ子さん。

船が港に帰ってくるまでの間、その頃は砕氷などはなく、角氷を木箱に入るサイズまで砕き、水揚げの準備をするのは全て嫁の仕事。しかしそこからが大変。山と海に囲まれた諸食に車道などはなく、全てが人力。魚を詰めた木箱を背負い、山道を歩き峠を越え、約1時間かけて隣り村の市場へ出荷する。帰り便では、木箱を造る材料や、更に食料品を背負い再び峠越え。「重さは20キロはあつたと思うよ。毎日肩なんてパンパンだったわね。けど、ここに（嫁に）来た人はみんながしてたことだけ

ね。」と笑いながらに当時の様子を話してくれた。

親父が死んだときはほんと辛かつた・・・。

2人の娘にも恵まれ、漁も続き幸せな生活を送っていたという石倉さんが36歳の時、これまでで一番辛かつた出来事が起こつたという。師匠として、また、一番信頼のおけるパートナーとして20年間漁を共にしてきた父親の他界。「辛かつたよ、あの頃は。なかなか元気が出らんかつたもんねあゝ・・・。」と呟く石倉さん。そんな石倉さんを支え励ましたのもやはり奥さんの力メ子さんでした。とにかく早く元氣を取り戻してほしかつたという力メ子さんはなんと石倉さんと共に船で漁に出ることを決心。「3年ぐらい一緒に乗つたかなあ。船には酔わんだつたねえ。延縄からイカ釣りから何でもやつたよ。ただお父さんを手伝いたかつた

だけ。」と話してくれた。

今は漁師だけで食べていくのは厳しい・・・。

地元諸食でも漁業者の高齢化が進む中、後継者不足について質問する



と、「よその地区では、若い人も漁師になるでしょう。孫でもその気があれば、なんぼでも教えてやるけど、今は漁師だけで（生活）は厳しいけんねえ・・・。」とポツリ。実は、地元で一番若い漁師さんは、石倉さんの娘婿であり、今年で58歳になるとか。10年程前に地元に戻って漁師を始めた頃、今度は自分が指導者となり漁具や漁法、知られていない未開拓の漁場（瀬）まで、自分が知っていることを全て教えてやったという。「教え過ぎたけん、今ではあいつの方が漁があるにいい。」と恥ずかしげに話してくれた。

### 嫁さんがおったけんこそ 続けてこれた漁師。

「休日には、孫やひ孫が遊びに来てほんと賑やかだよ。」という石倉さんの趣味は、三味線と晩酌。三味線は我流ながらお酒はかなりの凄腕。昔は、日本酒だったけど、今は専らウイスキーだとか。「一ヶ月5本のペースで、年間だと50本ぐらいかなあ・・・俺の腹の中には何百万円分のウイスキーが入っちゃる。」と満面の笑みで酒豪ぶりをアピールしてくれた。

そんな石倉さんを横で見守る奥さ



んに対し、これまでの想いをお願いすると、「嫁さんが、おったけんこそ漁師を続けられた。漁を手伝いながら、25年間勤めにも出てくれて家族を助けてくれた。ほんと感謝しちよーよ。」と、かなり照れながらも答えてくれた。

体力が続く限り漁師を続けたいという石倉さんの、とにかく明るい人柄や、家族や仲間を大切に思う優しさを感じることができた。

早く取材に応じていただいた石倉さんご夫妻にこの場を借りてお礼申し上げます。

## 浜の出来事

### 「美保産活メさわら」



漁獲直後、スポンジ上で活メ処理



理を行い、速やかに冷海水漬けにする。また、サワラの尾だけを持たずに腹を上にも両手で持ち、魚体が曲がらないよう大型のクーラーボックスを使用するなどこれまでとは一転した鮮度保持を実践。さらに、それらをまとめた「取り組みマニュアル」を作成し操業に励んでいる。

取り組みの成果も徐々に現れ始め、地元市場はもとより、「鮮度の良さ」をさらに発揮させるため、一昨年から岡山への直接出荷も開始したところ、「日本海ではトップクラス」との高評価と満足のいく単価で取引することができているという。

今後は更に「取り組みマニュアル」を徹底し信用を維持しながら、市場関係者、行政との連携を更に密にし、「美保産活メさわら」の認知度を高める取り組みを展開していきたいとしている。

松江市美保関町では、美保湾を漁場とするサワラ漕ぎ漁が盛んであり、近年、漁獲量は増加傾向にあることから、魚価は年々下落傾向にあることから、漁業者、JFしまね、行政とが連携をして、魚価向上を目的とする「美保産高品質サワラ」生産に向けた取り組みを二年前から実施している。

取り組んでいるのは、JFしまね美保関支所・福浦出張所に所属する漁業者10名（福浦サワラの会）。

サワラは鮮度落ちが早い上、身質が柔らかく、「身割れ」を起しやすいことから、まずは船上でのサワラの取り扱いを見直すことから開始。漁獲直後にスポンジ上で活メ・血抜き等の鮮度処



美保産活メサワラの荷姿（施氷前）

# 朝獲れ市場一心太助 (いっしんたすけ)

～毎月第一土曜日は「魚の日」～

「しまねの魚」の美味しさや海の幸の魅力を、県内・外の多くの人に伝えながら、魚に對してもっと興味や感心をもって喜んで食べてもらおうと、JFしまね直営「朝獲れ市場 一心太助 (いっしんたすけ) 水産会館敷地内・JR松江駅前」をオープンしました。

店内には、島根半島でその日に水揚げされた朝獲れ魚介類をはじめ、漁師が造る刺身を見立てた「まかない造り」や、底曳網船で水揚げされた未利用魚を原料とした「魚肉すり身(通称「漁師の生すり身)」などを取りそろえ販売しているほか、毎月第一土曜日を「魚の日」としたイベントでは、市内の鮮魚店も参加し、朝獲れ鮮魚プレゼント抽選会やワンコインセール、魚屋さんから直接指導を受ける魚の捌き方教室や毎回無料で振舞う海鮮みそ汁など、安全・安心で新鮮なしまねの魚を皆様に提供します。



マグロの模擬セリ(「魚の日」イベント)



魚の捌き方教室(「魚の日」イベント)



店内の様子



JFしまね総代会終了後に行われた、青木一彦氏(現参議院議員)を応援する会

**参議院議員総選挙 島根選挙区 青木一彦氏 初当選**

この度の参議院議員総選挙 島根選挙区において、JFしまねをはじめ、水産関係団体より推薦し、また応援をした青木一彦氏が、7万票もの大差をつける得票で、見事、初当選を果たされました。各浜におかれましては、組合員の皆様方より、温かいご支援・ご協力を頂き、心から感謝申し上げます。

漁民の声を国政へしっかりと届け、これからの島根県の漁業・漁村の発展のため、一生懸命頑張つて頂きたいと思えます。

## 明るい漁村 173号

編集兼発行人 / 漁業協同組合JFしまね  
〒690-0007 島根県松江市御手船場町575

TEL 0852-27-0001(代)  
FAX 0852-27-6130

皆様からのご意見や感想、ひとこと随想、また漁村に関する話題などお待ちしております。

〒690-0007 島根県松江市御手船場町575番地

漁業協同組合 JFしまね「明るい漁村」係

※E-mail: shidou@jf-shimane.or.jp または、

FAX: 0852-27-6130でもお寄せ下さい。

本誌のバックナンバー(pdf形式)をホームページで公開しています。

<JFしまねWEBサイト>

<http://www.jf-shimane.or.jp/akarui.html>

## 温かい真心に感謝

【香典返し】  
山本美代子 川上省自 野村誠二 野西旭 中津英一 野津一  
【募金】  
島根県水産課(水代会) 島根県漁港漁場整備課 島根県漁船保険組合 全国合同漁業共済組合島根県事務所 JFしまね平田支所 JFしまね鳥井女性部 JFしまね本所



平成21年9月14日から平成22年6月20日までにご寄付頂いた方々のご芳名を掲載し、厚くお礼申し上げます。

### 編集後記

一心太助(いっしんたすけ)がオープンして、もうすぐ1年になります。徐々に常連さんも増え、毎月第一土曜日の魚の日のイベントを楽しみにしている方もいるようです。

朝獲れ鮮魚にこだわった新鮮な「しまねの魚」を多くの方々に味わっていただけたらと思います。(に)